

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第1学年 授業者 松永 美知子

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

使う教材「きゅうしょくとうばん」(光村図書)

育てたい心

みんなの役に立つことの嬉しさ、やりがい、自分の成長を感じ取り、自分のやるべき仕事をしっかり行おうとする態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は給食当番で、デザートフルーツポンチをよそ担当になりました。どきどきしながら白衣を着ます。白玉をみんなに同じ数でよそえるかと考えます。お盆に少しこぼしたり、自分のところでみんなが待っていたりしましたが、一生懸命よそっているうちに、どきどきが消えてきました。最後をよそったとき、少ししか残っていない食缶を見て、先生や友達に褒められます。次の給食当番のときには、一口も残さずに配ろうと思う、「ぼく」のお話です。

授業の流れ

クラスの係など、自分の仕事について発表する。

- 1 「ぼくのところで、みんながまっている。」とき、「ぼく」はどんな気持ちでよそっていたのでしょうか。
- 2 みんながにこにこして「いただきます。」といったとき、「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょうか。

みんなのためにがんばってよかったことは、なんですか。

ご家庭で

一人一人がみんなのために働くことの大切さについて考え、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとする態度を育てることが大切であると考えます。

ご家庭で、お子さんが自分の仕事に取り組んでいるときには積極的に褒め、次はどんなめあてをもって仕事に取り組みたいか声をかけていただくとともに、子供たちが取り組んだ仕事が、周りの人のためになっていることも伝えていただけたらと思います。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第1学年 授業者 小野澤 瑞季

今日のテーマ「親切、思いやり」

使う教材「はしのうえのおおかみ」（光村図書）

育てたい心

相手に親切にすることのよさについて考えさせ、相手のことを思いやり、親切にしようとする心情を育てたいと思います。

お話について



山の中に一本橋がありました。おおかみは、一本橋を渡る時、自分より小さな動物に会うと、「戻れ、戻れ。」とどなり、相手に戻らせていい気持ちになっていました。ある日、自分より大きなくまに出会います。慌てておじぎをして、「わたしが後ろに戻ります。」と言うと、くまはおおかみを抱き上げて渡らせてくれました。おおかみは、くまの後ろ姿をいつまでも見送っていました。次の日、おおかみは再び橋で出会ったうさぎを、優しく抱き上げて渡してあげました。不思議なことにおおかみは、以前よりもずっといい気持ちになりました。

授業の流れ

誰かに優しくしたり、助けてあげたりした経験を発表する。

- 1 うさぎをもどらせて、「えへん、へん。」といったときのおおかみはどのような気持ちでしょう。
- 2 うさぎをわたらせてあげて、「えへん、へん。」といったときのおおかみはどのような気持ちでしょう。

これからは、どんなふうにもだちにせっしていきたいですか。

ご家庭で

相手に対して思いやりのある行動をしようとする心は、よりよい人間関係を築いていくための基盤となるものです。周りの人と温かく豊かな人間関係をつくっていく力は、子供たちにとって大切なものです。1年生の子供たちは、思いやりのある行為をした後に、人から認められることで、その行為の素晴らしさに気付くことが多いものです。人を思いやる行為をしているときは、大いに褒め、励ましてあげてください。また、親切にしてみても、どんな気持ちになったのかについても、話し合ってみていただけたらと思います。

今日のテーマ「親切、思いやり」

使う教材「くりのみ」(光村図書)

育てたい心

よい人間関係を築くために、お互いが温かい心をもって接したり、相手の立場に立って支え合ったりすることが大切である。人と接する経験を積み重ね、相手の立場を理解したり、相手の気持ちに気付いたりすることで、思いやりのある行動が取れるようになっていきたいと思います。

お話について



北風の吹く寒い原っぱで、ばったり出会ったきつねと、うさぎ。それぞれおなかをすかせており、別々に食べ物を探しに行く。きつねが見つけたどんぐりを独り占めにしようとするいっぽうで、うさぎは、やっとみつけた栗の実を、きつねに分けてあげようとする。そんなうさぎの行動に心を動かされ、きつねは、涙を流すというお話です。

授業の流れ

親切にされた経験を発表し合う。

- 1 きつねが、「だめ、だめ、なんにもみつかりませんでした。」と言ったのは、どうしてでしょう。
- 2 見つけた栗の実の一つをきつねにあげたとき、うさぎはどんな気持ちだったでしょう。
- 3 目から、ぽたりぽたりと、涙が落ちたとき、きつねはどんなことを考えてたでしょう。

これから友達にどうしていきたいですか。

「まなびのきろく」を開いて、今日の学習を振り返りましょう。

ご家庭で

この時期の子供たちは、家族だけでなく、学校の人々や友達との関わりが増えてきて、相手のことを思いやる気持ちを育てる大切な時期です。是非、ご家庭でも相手の立場に立って考えられる子供に育てて欲しいと思います。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「ぴかぴかがかり」（光村図書）

育てたい心

みんなのために働くことにはどんなよいことがあるかを考え、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



2学期から「ぴかぴかがかり」になった「わたし」とたまきさん。流しを磨くときれいになることにやりがいを感じ、毎日がんばっていました。しかし、水が冷たく、掃除をするのがだんだん嫌になってきた2人は、流しを磨くのをやめ、水を流すだけにすることにします。

ある日、「わたし」は、流しが黒ずんで水の流れも悪くなっていることに気づきます。「きちんとそうじをしなかったからだ。」と話していると、たまきさんがやって来て「今からながしをそうじしようか。」と言い、2人は流しをぴかぴかに磨きました。

きれいになった流しで、1年生たちが、「ながしがきれいだと、気持ちがいいね。」と話しているのを聞いた2人は、なんだかうれしくなりました。

クラスみんなのためにしていることを発表し合う。

- 1 黒ずんだ流しを見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。
- 2 1年生たちが話しているのを聞いたとき、「わたしたち」は、どんな話をしたと思いますか。
- 3 あなたが、みんなのためにがんばったとき、どんな気持ちになりましたか。

あなたの周りでは、どんな人が誰のために働いていますか。

ご家庭で

子供たちは、自分が働くことがみんなの役に立っていると感じると、どんどんがんばるパワーが湧いてきます。ご家庭でも、「学校の当番や係の仕事でどんなことをがんばっているの？」ときいてみてください。

また、ご家庭でも、家族の一員として分担する仕事を決め、家族の役に立っていると感じられる場を作っていただければと思います。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「ぴかぴかがかり」（光村図書）

育てたい心

みんなのために働くことにはどんなよいことがあるかを考え、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



2学期から「ぴかぴかがかり」になった「わたし」とたまきさん。流しを磨くときれいになることにやりがいを感じ、毎日がんばっていました。しかし、水が冷たく、掃除をするのがだんだん嫌になってきた2人は、流しを磨くのをやめ、水を流すだけにすることにします。

ある日、「わたし」は、流しが黒ずんで水の流れも悪くなっていることに気づきます。「きちんとそうじをしなかったからだ。」と思っていると、たまきさんがやって来て「今からながしをそうじしようか。」と言い、2人は流しをぴかぴかに磨きました。

きれいになった流しで、1年生たちが、「ながしがきれいだと、気持ちがいいね。」と話しているのを聞いた2人は、なんだかうれしくなりました。

クラスみんなのためにしていることを発表し合う。

- 1 黒ずんだ流しを見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。
- 2 1年生たちが話しているのを聞いたとき、「わたしたち」は、どんな話をしたと思いますか。
- 3 あなたが、みんなのためにがんばったとき、どんな気持ちになりましたか。

あなたの周りでは、どんな人が誰のために働いていますか。

ご家庭で

子供たちは、自分が働くことがみんなの役に立っていると感じると、どんどんがんばるパワーが湧いてきます。ご家庭でも、「学校の当番や係の仕事でどんなことをがんばっているの？」ときいてみてください。

また、ご家庭でも、家族の一員として分担する仕事を決め、家族の役に立っていると感じられる場を作っていただければと思います。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「ぴかぴかがかり」（光村図書）

育てたい心

みんなのために働くことにはどんなよいことがあるかを考え、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



2学期から「ぴかぴかがかり」になった「わたし」とたまきさん。流しを磨くときれいになることにやりがいを感じ、毎日がんばっていました。しかし、水が冷たく、掃除をするのがだんだん嫌になってきた2人は、流しを磨くのをやめ、水を流すだけにすることにします。

ある日、「わたし」は、流しが黒ずんで水の流れも悪くなっていることに気づきます。「きちんとそうじをしなかったからだ。」と思っていると、たまきさんがやって来て「今からながしをそうじしようか。」と言い、2人は流しをぴかぴかに磨きました。

きれいになった流しで、1年生たちが、「ながしがきれいだと、気持ちがいいね。」と話しているのを聞いた2人は、なんだかうれしくなりました。

クラスみんなのためにしていることを発表し合う。

- 1 黒ずんだ流しを見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。
- 2 1年生たちが話しているのを聞いたとき、「わたしたち」は、どんな話をしたと思いますか。
- 3 あなたは、みんなのためにがんばったとき、どんな気持ちになりましたか。

あなたの周りでは、どんな人が誰のために働いていますか。

ご家庭で

子供たちは、自分が働くことがみんなの役に立っていると感じると、どんどんがんばるパワーが湧いてきます。ご家庭でも、「学校の当番や係の仕事でどんなことをがんばっているの？」ときいてみてください。

また、ご家庭でも、家族の一員として分担する仕事を決め、家族の役に立っていると感じられる場を作っていただければと思います。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」（光村図書）

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことがない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和3年 12月11日 土曜日 第3学年 小野田 有希

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。

誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。

ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」（光村図書）

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことのない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和3年 12月11日 土曜日 第3学年 岡田 博之

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。

誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。

ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」（光村図書）

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことがない子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

令和3年 12月11日 土曜日 第3学年 柏木 由季

授業の流れ

「公平」とはということかを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。

誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。

ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

授業の流れ

使う教材「より遠くへ」(光村図書)

育てたい心

今より成長したいという願いや努力することの大切さを知り、目標に向かって粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



谷真海さんは、幼い頃からスポーツが大好きでした。しかし20歳のときに、骨肉腫という病気で右足の膝から下を切断しました。がんばれば再びスポーツができるようになるという医師の言葉に一筋の希望を抱いて、手術を受けてリハビリに取り組みました。しかし、退院後、不安感や悲しさ、自分だけが取り残されたという気持ちと、歩くのもやっとという現実に落ち込みます。そんなとき、スポーツをもう一度始めることを決心します。義肢装具士の方に、義足で走ってみよう勧められて希望を取り戻し、自分で目標を立てて一つ一つ乗り越えていくようになります。走り幅跳びに取り組むようになった真海さんは、もっと速くもっと遠くへと練習を重ね、ついにパラリンピックにも出場、記録を伸ばし続けました。

将来の夢や今目標にしていることを発表する。

- 1 手術の後、真海さんが再びスポーツを始めようと思ったのはどんな気持ちからでしょう。
- 2 真海さんが手にした「大切なもの」とは何だと思えますか。
- 3 目標に向かって努力を続けていくために大切なことは何でしょう。

改めて自分の夢や目標を振り返って考えてみましょう。

ご家庭で

努力してやり抜くことのすばらしさは私たち大人も経験してきています。おうちの方の何かをやり遂げた経験をお子さんにお話いただくことで、お子さんは大いに勇気づけられると思います。そして、結果だけにこだわるのではなく、お子さん自身のチャレンジや努力を「よくがんばった!」と温かく励ましていただけるとよいと思います。その励ましがお子さんの自信を深め、さらなる向上心を育むことにつながると思います。

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」

授業の流れ

使う教材「より遠くへ」(光村図書)

育てたい心

今より成長したいという願いや努力することの大切さを知り、目標に向かって粘り強くやり遂げようとする心情を育てたいと考えています。

お話について



谷真海さんは、幼い頃からスポーツが大好きでした。しかし20歳のときに、骨肉腫という病気で右足の膝から下を切断しました。がんばれば再びスポーツができるようになるという医師の言葉に一筋の希望を抱いて、手術を受けてリハビリに取り組みました。しかし、退院後、不安感や悲しさ、自分だけが取り残されたという気持ちと、歩くのもやっとという現実に落ち込みます。そんなとき、スポーツをもう一度始めることを決心します。義肢装具士の方に、義足で走ってみよう勧められて希望を取り戻し、自分で目標を立てて一つ一つ乗り越えていくようになります。走り幅跳びに取り組むようになった真海さんは、もっと速くもっと遠くへと練習を重ね、ついにパラリンピックにも出場、記録を伸ばし続けました。

将来の夢や今目標にしていることを発表する。

- 1 手術の後、真海さんが再びスポーツを始めようと思ったのはどんな気持ちからでしょう。
- 2 真海さんが手にした「大切なもの」とは何だと思えますか。
- 3 目標に向かって努力を続けていくために大切なことは何でしょう。

改めて自分の夢や目標を振り返って考えてみましょう。

ご家庭で

努力してやり抜くことのすばらしさは私たち大人も経験してきています。おうちの方の何かをやり遂げた経験をお子さんにお話いただくことで、お子さんは大いに勇気づけられると思います。そして、結果だけにこだわるのではなく、お子さん自身のチャレンジや努力を「よくがんばった!」と温かく励ましていただけるとよいと思います。その励ましがお子さんの自信を深め、さらなる向上心を育むことにつながると思います。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第5学年1組 授業者 武田 理史

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」
使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「本当の自由」とはどのようなものかを考え、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任のある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



森の番人ガリューは、日の出前には森で狩りをしてはならないというきまりを破った者を取り締まるのが仕事です。銃声が聞こえ、向かってみると、そこにはこの国の王子、ジェラルがいました。誰であろうときまりを破ることは許せないとガリューは主張しますが、王子に「したいことを、したいようにできる自由な暮らしをみんな望んでいる」と反論されます。そして、ガリューは、捕らえられてろう屋に入れられます。

王様が亡くなり、ジェラルが王位を継ぐと、わがままはいつそうひどくなり、世の中は乱れていきました。そのうちに、ジェラルは裏切りに遭い、ろう屋に入れられます。そこでジェラルはガリューに再会し、「あのとき、わがままな心を正していたら、国も乱れることはなかった」と後悔の言葉を述べます。ろう屋から出ることになったガリューは、ジェラルに「本当の自由を大切にしましょう。」と語りかけました。

授業の流れ

自分が考える「自由」についてのイメージを出し合う。

- 1 ガリューに注意された時、ジェラル王子はどんなことを考えたでしょう。
- 2 涙を流しながら、ジェラルはどんなことを考えたでしょう。
- 3 ガリューが立ち去った後、ジェラルは「本当の自由」について、どう考えたでしょう。

自己を振り返る。

「本当の自由」とはどんなものだろう。

ご家庭で

自分らしさを生かし、自由に行動することと、自分勝手に振る舞うことの違いについて、例えばどういうことなのか、ご家庭でも話し合ってみてくださるとよいと思います。真に自由な生き方とはどういうことか、自覚をもって行動することの意味について、ご自身の経験などからもお話ししていただけるとありがたいです。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第5学年2組 授業者 西野 千絵

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」
使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「本当の自由」とはどのようなものかを考え、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任のある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



森の番人ガリューは、日の出前には森で狩りをしてはならないというきまりを破った者を取り締まるのが仕事です。銃声が聞こえ、向かってみると、そこにはこの国の王子、ジェラルがいました。誰であろうときまりを破ることは許せないとガリューは主張しますが、王子に「したいことを、したいようにできる自由な暮らしをみんな望んでいる」と反論されます。そして、ガリューは、捕らえられてろう屋に入れられます。

王様が亡くなり、ジェラルが王位を継ぐと、わがままはいつそうひどくなり、世の中は乱れていきました。そのうちに、ジェラルは裏切りに遭い、ろう屋に入れられます。そこでジェラルはガリューに再会し、「あのとき、わがままな心を正していたら、国も乱れることはなかった」と後悔の言葉を述べます。ろう屋から出ることになったガリューは、ジェラルに「本当の自由を大切にしましょう。」と語りかけました。

授業の流れ

自分が考える「自由」についてのイメージを出し合う。

- 1 ガリューに注意された時、ジェラル王子はどんなことを考えたでしょう。
- 2 涙を流しながら、ジェラルはどんなことを考えたでしょう。
- 3 ガリューが立ち去った後、ジェラルは「本当の自由」について、どう考えたでしょう。

自己を振り返る。

「本当の自由」とはどんなものだろう。

ご家庭で

自分らしさを生かし、自由に行動することと、自分勝手に振る舞うことの違いについて、例えばどういうことなのか、ご家庭でも話し合ってみてくださるとよいと思います。真に自由な生き方とはどういうことか、自覚をもって行動することの意味について、ご自身の経験などからもお話ししていただけるとありがたいです。

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第5学年3組 授業者 藤本 梨央

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」
使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「本当の自由」とはどのようなものかを考え、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任のある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



森の番人ガリューは、日の出前には森で狩りをしてはならないというきまりを破った者を取り締まるのが仕事です。銃声が聞こえ、向かってみると、そこにはこの国の王子、ジェラルがいました。誰であろうときまりを破ることは許せないとガリューは主張しますが、王子に「したいことを、したいようにできる自由な暮らしをみんな望んでいる」と反論されます。そして、ガリューは、捕らえられてろう屋に入れられます。

王様が亡くなり、ジェラルが王位を継ぐと、わがままはいつそうひどくなり、世の中は乱れていきました。そのうちに、ジェラルは裏切りに遭い、ろう屋に入れられます。そこでジェラルはガリューに再会し、「あのとき、わがままな心を正していたら、国も乱れることはなかった」と後悔の言葉を述べます。ろう屋から出ることになったガリューは、ジェラルに「本当の自由を大切にしましょう。」と語りかけました。

授業の流れ

自分が考える「自由」についてのイメージを出し合う。

- 1 ガリューに注意された時、ジェラル王子はどんなことを考えたでしょう。
- 2 涙を流しながら、ジェラルはどんなことを考えたでしょう。
- 3 ガリューが立ち去った後、ジェラルは「本当の自由」について、どう考えたでしょう。

自己を振り返る。

「本当の自由」とはどんなものだろう。

ご家庭で

自分らしさを生かし、自由に行動することと、自分勝手に振る舞うことの違いについて、例えばどういうことなのか、ご家庭でも話し合ってみてくださるとよいと思います。真に自由な生き方とはどういうことか、自覚をもって行動することの意味について、ご自身の経験などからもお話ししていただけるとありがたいです。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「『働く』ってどういうこと」(光村図書)

育てたい心

6年生は自分のことだけでなく、社会に目を向けて考えることができる学年です。社会に貢献する手段の一つである「働くこと」について考えることを通して、将来に向けての勤労観・職業観を育みたいと考えています。

お話について



この教材は複数の資料から成り立っています。さまざまな働く人の姿を描いた絵で、身の回りに多くの仕事があることを振り返り、その後様々な資料を読み取ることで多面的・多角的に働くこととは何かを考えます。

大人になって働いたとき、大切にしたいことを発表する。

- 1 どんなところで、どんな人が働いているでしょう。絵を見て発表しましょう。
- 2 仕事をしていく上で大切なことについて、資料から読み取りましょう。

人は、何のために働くのでしょうか。

多様な働くことの目的や意義を考えると共に、自分自身はどんなことのために働きたいかについて考える。

ご家庭で

おうちの方ご自身の、仕事への思いについて、ぜひお話しいただければと思います。「その仕事を選んだ理由」「仕事での苦労や工夫」「やりがい」などをお話ししていただければ、働くことの意義や喜びについて、子供たちが考えを深めることにつながると思います。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「『働く』ってどういうこと」(光村図書)

育てたい心

6年生は自分のことだけでなく、社会に目を向けて考えることができる学年です。社会に貢献する手段の一つである「働くこと」について考えることを通して、将来に向けての勤労観・職業観を育みたいと考えています。

お話について



この教材は複数の資料から成り立っています。さまざまな働く人の姿を描いた絵で、身の回りに多くの仕事があることを振り返り、その後様々な資料を読み取ることで多面的・多角的に働くこととは何かを考えます。

大人になって働いたとき、大切にしたいことを発表する。

- 1 どんなところで、どんな人が働いているでしょう。絵を見て発表しましょう。
- 2 仕事をしていく上で大切なことについて、資料から読み取りましょう。

人は、何のために働くのでしょうか。

多様な働くことの目的や意義を考えると共に、自分自身はどんなことのために働きたいかについて考える。

ご家庭で

おうちの方ご自身の、仕事への思いについて、ぜひお話しただければと思います。「その仕事を選んだ理由」「仕事での苦労や工夫」「やりがい」などをお話ししていただければ、働くことの意義や喜びについて、子供たちが考えを深めることにつながると思います。

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「『働く』ってどういうこと」(光村図書)

育てたい心

6年生は自分のことだけでなく、社会に目を向けて考えることができる学年です。社会に貢献する手段の一つである「働くこと」について考えることを通して、将来に向けての勤労観・職業観を育みたいと考えています。

お話について



この教材は複数の資料から成り立っています。さまざまな働く人の姿を描いた絵で、身の回りに多くの仕事があることを振り返り、その後様々な資料を読み取ることで多面的・多角的に働くこととは何かを考えます。

大人になって働いたとき、大切にしたいことを発表する。

- 1 どんなところで、どんな人が働いているでしょう。絵を見て発表しましょう。
- 2 仕事をしていく上で大切なことについて、資料から読み取りましょう。

人は、何のために働くのでしょうか。

多様な働くことの目的や意義を考えると共に、自分自身はどんなことのために働きたいかについて考える。

ご家庭で

おうちの方ご自身の、仕事への思いについて、ぜひお話しただければと思います。「その仕事を選んだ理由」「仕事での苦労や工夫」「やりがい」などをお話ししていただければ、働くことの意義や喜びについて、子供たちが考えを深めることにつながると思います。

